

日本分子生物学会 2006 フォーラム「分子生物学の未来」 ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) ブース展示報告

平成 18 年 12 月 6 日(水)～8 日(金)に、名古屋国際会議場において、「日本分子生物学 2006 フォーラム『分子生物学の未来』(組織委員代表:町田泰則 名古屋大学大学院理学研究科)」が開催されました。日本分子生物学会は、本年 6 月に京都において、年会を第 20 回国際生化学・分子生物会議、第 11 回アジア・オセアニア生化学者・分子生物学者連合会議、第 79 回日本生化学会大会と共催で開催しました。そこで、例年年会が開催される 12 月に、基礎生物学としての分子生物学の成果・展望のみでなく、成果の社会への還元についても議論できるような場として、発表および参加を日本分子生物学会会員に限定しないフォーラムを開催する運びとなりました。

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)では、各種法人展示コーナーにおいてブース展示を行い、NBRP の概要説明を行いました。また、各中核機関のパンフレットやチラシ等の資料を配布し、各中核機関の事業紹介を行いました。ブースには約 250 名の研究者が立ち寄り、プロジェクトにご理解、ご賛同していただきました。中には NBRP を初めて耳にしたという研究者や、NBRP の概要を知り、寄託の相談をする研究者、バイオリソースについて熱心に質問する研究者もいました。こうした広報活動を行い、今後もより多くの研究者に NBRP を理解していただき、バイオリソースを活用していただけたら幸いです。

